

令和3年度 事業実施報告（令和3年度 新規事業①）

WG名	多伎元気プロジェクト
WG構成員	(株)多伎振興 常務取締役 杉谷 伸二 他4名
モデル事業名	多伎元気プロジェクト
事業概要	令和6年に山陰道「出雲～多伎」間が開通すると、これまで多伎町に立ち寄っていた人々が、多伎町を通過してしまい、地域産業が衰退する事態を懸念している。この状態を打破するため、「地域の連携・名所の再発掘」「効果的なPR方法」「資金循環のための商品づくり」を実践する。特産品をはじめとする多伎の地域資源を活用して、山陰道開通後も目的地となるように、多伎町をリデザインすることで、地域コミュニティ及び地域経済を活性化する。
令和3年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・WGメンバー以外の事業所に対する本事業への参加の呼びかけや、持続的な運営方法についての検討を行った。 ・「多伎町＝トントウの宿る町」をブランディングするため、コンセプトの策定に取り組んだ。 ・多伎町内の観光名所の選定と周遊ルートの作成を検討した。 ・商品の開発及び試作を行うとともに、完成した試作品を試験販売する準備を行った。
令和3年度 事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・多伎町内のWGメンバー以外の事業所にも事業に参画してもらい多くの関連商品を販売するための組織体制が整った。 ・多伎町とフィンランドの共通点を整理し、コンセプト策定の準備をすることができた。 ・一部の商品については試作品が完成し、試験販売を行った。また、WGメンバー以外の事業所の協力のもと、追加の商品の開発に至ることができた。
令和4年度 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現在本事業に未参画の事業所にも呼びかけを行い、協力者を増やすとともに利益（自主財源）を獲得し、持続可能な商品開発ができる仕組みと安定した運営体制を築く。 ・コンセプトを策定し、商品販売に際し提示する。 ・観光名所を選定し、周遊ルートを定めるとともに、ルートを周知するためのリーフレットを作成する。 ・観光名所に「トントウ」のオブジェを設置する。 ・継続して新商品を開発し、販売する。



活動の様子（試験販売）



試作品